

## 東日本大震災における高精細津波浸水シミュレーション High refining tsunami inundation simulation of the 2011 Great East Japan Earthquake

有川 太郎<sup>1\*</sup>, 富田孝史<sup>1</sup>

Taro Arikawa<sup>1\*</sup>, TOMITA, Takashi<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 港湾空港技術研究所

<sup>1</sup>Port and Airport Research Institute

津波災害は、特定地域における浸水被害ではなく、広域にわたって破壊を伴う大災害となりうる可能性があることが、2011年に生じた東日本大震災によって示された。そこで得られた教訓として、これまでのように、破壊するかしないかの判定だけでなく、どのように破壊するかということまで評価できる手法が必要となる。そのため、広域かつ高精細に検討できるシミュレーションツールは必須であり、急務である。本研究は、その研究の第一歩として、津波の発生源から街中の浸水までを検討できるツールを検証するとともに、街中の高精細な計算をするシミュレータの計算効率を検討する。

キーワード: 東日本大震災, 津波, 遡上, 数値計算, VOF, スパコン

Keywords: the Great East Japan Earthquake, Tsunami, Inundation, Numerical Simulation, VOF, High performance computing